



目次

1	令和7年 10月実施問題	11
	解答＆解説	22
2	令和7年 3月実施問題	39
	解答＆解説	51
3	令和6年 10月実施問題	71
	解答＆解説	84
4	令和6年 3月実施問題	105
	解答＆解説	116
5	令和5年 10月実施問題	133
	解答＆解説	146
6	令和5年 3月実施問題	163
	解答＆解説	176
7	令和4年 10月実施問題	197
	解答＆解説	209
8	令和4年 3月実施問題	227
	解答＆解説	239
9	令和3年 10月実施問題	257
	解答＆解説	271
10	令和3年 3月実施問題	293
	解答＆解説	306
<input type="checkbox"/>	自動車用語の意味	326

はじめに

①本書は、日本自動車整備振興会連合会（以下「日整連」）の登録試験「3級自動車シャシ」を過去10回分収録しております。

回数	実施年月	受験者数	合格者数	合格率
1	令和7年10月	750人	531人	70.8%
2	令和7年3月	1,588人	1,070人	67.4%
3	令和6年10月	819人	540人	65.9%
4	令和6年3月	1,816人	1,224人	67.4%
5	令和5年10月	942人	607人	64.4%
6	令和5年3月	1,799人	1,148人	63.8%
7	令和4年10月	993人	699人	70.4%
8	令和4年3月	1,947人	1,298人	66.7%
9	令和3年10月	931人	606人	65.1%
10	令和3年3月	1,798人	1,374人	76.4%

②正解については、日整連が公表しています。したがって、公表されている答えをそのまま掲載しました。

③合格基準は、全30問（各1点）に対し、21点以上の成績となっています。

④自動車用語は、ほとんどが英語となっています。自動車用語を理解し覚える上で、元の英語の意味がわかると、たいへん参考になります。そこで、本書では主な自動車用語について、巻末に「用語解説」を設け、英語の一般的な意味を掲載しました。

⑤法令問題は、令和7年10月時点の法令を基準としてあります。

⑥教科書の内容変更等により、設問が不適切となっているものは、編集部で手を加え、適切な内容になるようにしています。この場合、問題の最後に「改」と入れてあります。

令和7年11月 回数別 問題と解説 編集部

過去10回の出題傾向

※表の見方

1. 試験回数の区分

1回	……令和7年10月実施問題	2回	……令和7年3月実施問題
3回	……令和6年10月実施問題	4回	……令和6年3月実施問題
5回	……令和5年10月実施問題	6回	……令和5年3月実施問題
7回	……令和4年10月実施問題	8回	……令和4年3月実施問題
9回	……令和3年10月実施問題	10回	……令和3年3月実施問題

2. 該当項目の印

該当項目の問題が出題されていることを表す。1回「①」であれば、令和7年10月の設問【1】が該当することを表す。

3. 該当項目の分類

「総論」「動力伝達装置」「アクスル及びサスペンション」等の試験問題の内容の区分は、それぞれ教科書「3級シャシ」の第1章、第2章、第3章…の分類とした。また、「基礎整備作業」と「基礎工学」の内容は、教科書「基礎自動車整備作業」と「基礎自動車工学」がそれぞれ該当する。

試験問題の内容		試験回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
総論	性能&諸元（基礎工学）		①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
動力伝達装置	ダイヤフラム式クラッチ			② ⑤			② ⑤					②
	クラッチの切れ不良		②		②			②		②		②
	クラッチの滑り					②			②			
	トランスミッションの原理				③			③				③
	マニュアル・トランスミッション		⑥		④			④				④
	キー式シンクロメッシュ機構		④			④			④	⑤		④
	オイル・ポンプ&トルク・コンバータ		⑤			⑤			⑤			⑤
	プラネタリ・ギヤ			④			④			④		
	ATの油圧制御装置		③			③				③		
	バーフィールド型ジョイント				⑤			⑤				⑤
	ファイナル・ギヤ		⑧	⑥	⑥	⑧	⑥	⑥	⑥	⑧	⑥	⑥
アクスル及びサスペンション	車軸懸架式リヤ・アクスル・シャフト			⑦	⑦		⑦	⑦				⑧
	独立懸架式アクスル&サスペンション										⑦	
	独立懸架式サスペンションの特徴				⑧			⑧				⑦
	コイル・スプリング											⑩
	シャシ・スプリング		⑦			⑦	⑥			⑥		
	リーフ・スプリング			⑥	⑨			⑨	⑦		⑦	
	ショック・アブソーバ		⑩			⑩			⑩			

試験問題の内容		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
ステアリング装置	ボール・ナット型 ステアリング装置		(10)	(10)		(10)	(10)		(10)		
	ボール・ナット型 ギヤ機構							(8)			(8)
	ステアリング・ リンク機構									(10)	
	油圧式パワー・ ステアリング		(9)			(9)					
	ラック・ピニオン型 パワー・ステアリング	(8)			(8)				(9)		
	インテグラル型 パワー・ステアリング									(9)	
ホイール及びタイヤ	タイヤの構造		(11)			(11)			(11)		
	タイヤの呼び			(15)							
	ホイール及びタイヤ	(9)		(11)	(9)			(9)		(9)	
	ホイール・ボルト 及びホイール・ナット						(11)			(11)	
ホイール・アライメント	ホイール・アライメント 全般	(11)	(12)		(11)	(12)					
	キング・ピン・ オフセット						(12)			(12)	
	キャスター			(12)				(11)			(11)
	スラスト角								(12)		
ブレーキ装置	タンデム・マスター・ シリング	(12)			(12)					(15)	
	油圧式ドラム・ブレーキ	(13)	(14)		(13)		(15)	(13)	(14)		(13)
	油圧式ドラム・ ブレーキの自己倍力作用					(14)				(13)	
	油圧式ディスク・ ブレーキ		(13)	(13)		(13)	(13)	(12)	(13)		(12) (14)
	ブレーキ液	(15)			(15)			(15)			
	真空式制動倍力装置	(16)	(15)	(14)	(16)	(15)	(14)	(16)	(15)	(14)	(16)

試験問題の内容		試験回数									
		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
ブレーキ装置	タンデム・マスタ・シリンダ	(12)			(12)					(15)	
	油圧式ドラム・ブレーキ	(13)	(14)		(13)		(15)	(13)	(14)		(13)
	油圧式ドラム・ブレーキの自己倍力作用				(14)					(13)	
	油圧式ディスク・ブレーキ		(13)	(13)		(13)	(13)	(12)	(13)		(12) (14)
	ブレーキ液	(15)			(15)			(15)			
	真空式制動倍力装置	(16)	(15)	(14)	(16)	(15)	(14)	(16)	(15)	(14)	(16)
ボルティ	フレームの湾曲傾向				(14)			(14)			(15)
	ガラス＆塗料＆亀裂 合成樹脂＆フレーム 他	(14)	(16)	(16)		(16)	(16)		(16)	(16)	
半導体	トランジスタ			(22)			(22)				
	電気用図記号	(22)	(27)		(22)	(27)		(22)	(27)	(22)	
バッテリ	形式の表示法	(27)			(27)				(20)		
	バッテリ全般		(20)	(18)		(20)	(18)	(27)		(18)	(27)
灯火装置全般		(18)		(17)	(18)		(17)	(19)		(17)	(18)
サーキット・テスタの取扱い		(20)	(18)	(23)	(20)	(18)	(23)	(20)	(18)	(23)	(20) (24)
冷暖房装置	冷凍サイクル								(19)		(19)
	冷房機能	(19)	(19)	(20)	(19)	(19)	(20)	(18)		(20)	
配線	CAN 通信	(23)	(17)	(19)	(23)	(17)	(19)	(23)	(17)	(19)	(22)
潤滑剤	グリース		(25)			(25)			(25)		
	潤滑剤の作用	(3)			(3)			(3)			(3)

試験問題の内容		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
基礎整備作業	マイクロメータ		(26)			(26)			(26)		
	プライヤの種類			(25)							(26)
	ドライバの種類	(26)					(25)			(24)	
	リーマ				(26)			(26)			
基礎工学他	鉄鋼		(24)								
	非鉄金属・ガラス・複合材	(25)			(25)			(25)			(25)
	アルミニウムの特徴			(26)		(24)	(26)		(24)	(26)	
	ペアリング	(24)			(24)			(24)			(23)
	単位	(17)	(22)	(27)	(17)	(22)	(27)	(17)	(22)	(27)	(17)
計算問題	MT の変速比			(24)			(24)			(25)	
	ギヤのトルク		(21)			(21)			(21)		
	電流計と抵抗値		(23)			(23)					(21)
	合成抵抗	(21)		(21)	(21)		(21)	(21)	(23)	(21)	
車両法	自動車特定整備事業者の義務						(28)				
	自動車の種別					(28)			(28)		
	使用者の点検及び整備の義務		(28)								
	日常点検整備			(28)						(28)	

試験問題の内容		試験回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
保安基準	自動車の長さ、幅、高さ	(28)			(28)			(28)				(28)
	軸荷重＆軸重		(29)			(29)						
	安定性				(30)			(30)				
	最小回転半径			(29)								
	走行用前照灯									(29)		
	すれ違い用前照灯										(30)	
	側方灯			(30)			(30)					
	番号灯				(29)							
	制動灯	(29)										
	補助制動灯											(29)
方向指示器	(30)						(29)	(29)			(29)	(30)
			(30)			(30)				(30)		
警音器												

いつでもどこでも スマホで勉強

自動車整備士 3級シャシ 回数別問題集

- アプリ Ver. -

10

回分の登録試験を収録
(令和7年10月～令和3年3月)



多数の機能を搭載 !!

成績
管理

合否
判定

誤答
管理

ランダム
出題



2025年12月リリース予定

App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう

公論出版 3級シャシ 回数別

1,100円(税込)

※2025年10月現在の予定で価格。リリース時に変更になる場合もあります。

1

令和7年10月実施問題

【1】自動車の性能及び諸元に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

1. 駆動力は、路面とタイヤの摩擦力以上に大きくならない。
2. 走行抵抗は、車速が増すごとに大きくなるが、勾配の大きさは影響しない。
3. 旋回時の自動車は、遠心力とコーナリング・フォースが釣り合った状態である。
4. 空車状態とは、燃料、潤滑油、冷却水などを全量搭載し、運行に必要な装備をした状態をいう。

【2】油圧式のダイヤフラム・スプリング式クラッチにおいて、切れ不良の原因として、不適切なものは次のうちどれか。

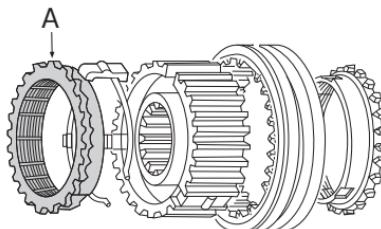
1. クラッチ・ディスクとクラッチ・シャフトのスライン部のしゅう動不良
2. ダイヤフラム・スプリングの高さの不ぞろい
3. クラッチ油圧系統へのエア混入
4. ダンパ・スプリングの衰損

【3】潤滑剤に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

1. オイルの粘度は、高過ぎると粘性抵抗が大きくなる。
2. SAE粘度分類では、粘度番号が大きいものほど粘度が低くなる。
3. ブレーキ・グリースは、非石けん系のシリカゲル・グリースに分類される。
4. ギヤ・オイルの粘度指数は、小さいものほど温度による粘度変化の度合いが少ない。

【4】図に示すキー式のシンクロメッシュ機構のAの部品名称として、適切なものは次のうちどれか。

- 1. スリーブ
- 2. シンクロナイザ・ハブ
- 3. シンクロナイザ・リング
- 4. シンクロナイザ・キー



【5】オートマティック・トランスミッションに用いられているオイル・ポンプに関する次の文章の（ ）に当てはまるものとして、適切なものはどれか。

オイル・ポンプは、トルク・コンバータの（ ）とともにエンジンによって駆動される。

- 1. ステータ
- 2. タービン・ランナ
- 3. ポンプ・インペラ
- 4. ワンウェイ・クラッチ

【6】FR車のシンクロメッシュ式マニュアル・トランスミッションに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- 1. 後退時は、カウンタ・シャフトを逆回転させるために、リバース・ギヤとカウンタ・シャフト・リバース・ギヤとの間にリバース・アイドル・ギヤを設けている。
- 2. インタロック機構は、ギヤ・シフトの際、同時に2種類のギヤにシフトされないようにしている。
- 3. シンクロナイザ・ハブ内周のスライスは、カウンタ・シャフトとかん合している。
- 4. ロッキング・ポールは、ギヤ・シフトの際、ギヤ鳴りを防止する働きをする。

【7】シャシ・スプリングに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- 1. リーフ・スプリングのキャンバ（反り）とは、両端の目玉部中心間の距離をいう。
- 2. ばね定数の単位にはN/mmを用い、その値が大きいほどスプリングは軟らかくなる。
- 3. トーション・バー・スプリングは、主に車軸懸架式のサスペンションに用いられている。けんか
- 4. コイル・スプリングを使用したサスペンションは、アクスルを支持するためのリンク機構を必要とする。

【8】ラック・ピニオン型油圧式パワー・ステアリングにおいて、パワー・シリンダが設けられている部品として、適切なものは次のうちどれか。

- 1. オイル・ポンプ
- 2. ドラッグ・リンク
- 3. ラック・エンド
- 4. ラック・チューブ

【9】タイヤとホイール（JIS方式）に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

- 1. タイヤのエア圧の点検は、タイヤが暖まっている状態で行う。
- 2. ホイールの深底リムは、主として乗用車及び小型トラックのディスク・ホイールに用いられている。
- 3. ホイール・ナット（ボルト）の締め付けは、対角線順に2～3回に分けて行い、最後にトルク・レンチを使用して規定のトルクで締め付ける。
- 4. タイヤの溝の深さの測定は、デプス・ゲージを用いて行う。

1

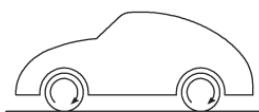
令和7年10月実施問題 解答&解説

【1】性能&諸元（基礎工学）

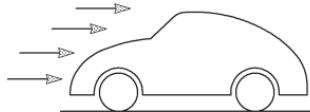
解答 2

解7
答年
解10
月
説

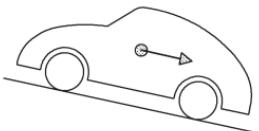
2. 走行抵抗は、転がり抵抗、空気抵抗、加速抵抗、勾配抵抗から成る。



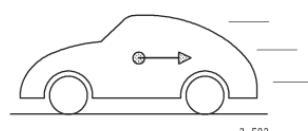
《転がり抵抗》



《空気抵抗》



《勾配抵抗》

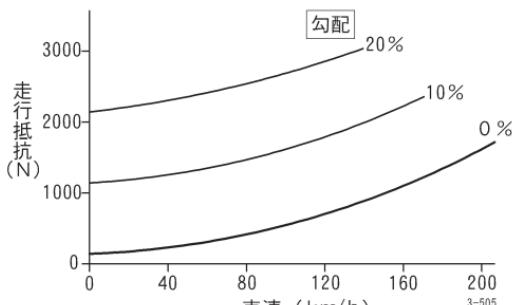


《加速抵抗》

3-503

【各種走行抵抗】

これらのうち、転がり抵抗と空気抵抗は、速度が増すごとに大きくなる。また、勾配抵抗は自動車が坂道を上るときの勾配による抵抗をいい、勾配が急になるほど大きくなる。したがって、走行抵抗は、車速が増すごとに大きくなり、勾配が急になるほど同様に大きくなる。



【車速と走行抵抗の関係例】

【2】 クラッチの切れ不良

解答 4

4. ダンパ・スプリングの衰損は、クラッチのつながり具合の原因となる。

クラッチの切れ不良の原因は、次のとおりである

- ◎ダイヤフラム・スプリングの高さの不ぞろい
- ◎クラッチ・ディスクの振れ
- ◎クラッチ・ディスクとクラッチ・シャフトのスライド部の潤滑不良

解7
答年
解10
説月

【3】 潤滑剤の作用

解答 1

2. SAE粘度分類では、粘度番号が大きいものほど粘度が高くなる。

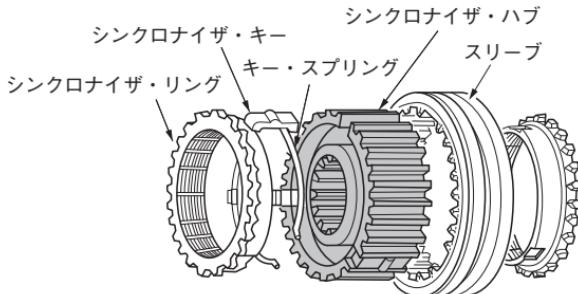
3. ブレーキ・グリースは、特殊な潤滑油にリチウム石けんを加えたグリースである。

4. ギヤ・オイルの粘度指数は、大きいものほど温度による粘度変化の度合いが少ない。

【4】 キー式シンクロメッシュ機構

解答 3

キー式シンクロメッシュ機構の主な部品名称は、次のとおりである。



【キー式シンクロメッシュ機構】

シンクロナイザ・リングは、メイン・シャフト上を空転するようになっている各ギヤのコーン部に当たって、クラッチ作用を行う役目をする。このため、内周に油切りと面圧を高めるための溝が設けられている。

【7】 シャシ・スプリング

解答 4

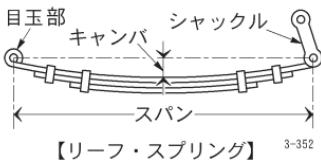
1. リーフ・スプリングの両端の目

玉部中心間の距離をスパンといい、
湾曲の度合いをキャンバ(反り)
という。

2. ばね定数の単位である「N/mm」

は、スプリングを1mm縮める

のに必要な力(単位N)の大きさを表す。この値が大きいほどスプリングは硬くなる。例えば、ばね定数が10N/mmと100N/mmのスプリングがあるとすると、100N/mmの方が硬く、10N/mmの方が軟らかくなる。

3. トーション・バー・スプリングは独立懸架式サスペンションに用いられている。棒状のばね鋼でつくりられており、一端を固定し他端をねじると、弾性により元に戻ろうとする特性を利用している。ホイールが上下動すると、リンク機構を介してスプリングがねじられるようになっている。サスペンションでは、2本のトーション・バー・スプリングを使用し、左右が個別に上下動する。

【8】 ラック・ピニオン型パワー・ステアリング

解答 4

パワー・ステアリングは、パワー・シリンダとコントロール・バルブの形状及び配置によって、ラック・ピニオン型とインテグラル型、リンクージ型に分けられる。

ラック・ピニオン型は、コントロール・バルブをステアリング・ギヤ・ボックスの内部に、パワー・シリンダをラック・チューブにそれぞれ組み込んだもので、乗用車に多く用いられている。

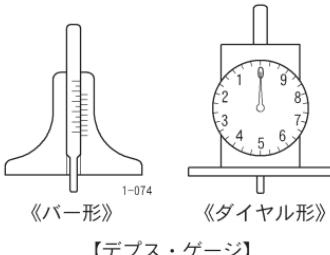
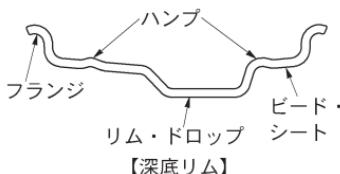
【9】 ホイール及びタイヤ

解答 1

1. 走行直後など、タイヤが温かいと内部空気の膨張によりエア圧が高くなる。
このため、エア圧の点検はタイヤが冷えている状態で行う。

2. ホイールの深底リムは、タイヤの脱着を容易にするため、中央部にリム・ドロップ（深いくぼみ）を設けている。脱着する場合は、このリム・ドロップにタイヤのビード部を落とし込んで行う。主に乗用車及び小型トラックに用いられている。

4. タイヤの溝の深さの測定は、デブス・ゲージを用いて行う。



【10】ショック・アブソーバ

解答 2

一般にショック・アブソーバの減衰作用は、乗り心地などの関係から圧縮時より伸長時の方を強くしてあり、これはバルブなどでオイルの流量を変えることによって行われている。

【11】ホイール・アライメント全般

解答 4

4. 設問の内容は、独立懸架式。車軸懸架式のトラックはキャンバ変化はしないが、独立懸架式のキャンバは路面の状態により常に変化し、サスペンションが受ける荷重が大きくなるほど、キャンバの変化量が大きくなる。

【12】タンデム・マスタ・シリンダ

解答 4

3. タンデム・マスタ・シリンダは、一つのシリンダ内にプライマリとセカンダリの計2個のピストンを備えており、それぞれピストンを支持するリターン・スプリングが収納されている部分で圧力室を形成している。

4. 前輪のブレーキ系統に液漏れがあるときは、ブレーキ・ペダルを踏むと、セカンダリ・ピストンの先端がシリンダ・ボディに当たって止まり、プライマリ・ピストン側の圧力室（B室）に液圧が発生する。このため、後輪のブレーキ系統が作動する。

**自動車整備士
3級シャシ 回数別問題と解説
令和8年版**

定価 1210 円 (税込)

■発行日 令和 7 年 12 月 初版

■発行所 株式会社 公論出版
〒 110-0005 東京都台東区上野 3-1-8
TEL: 03-3837-5731
HP: <https://www.kouronpub.com/>